



「防災の日」

校長 齋藤 将之

はじめに、令和 8 年熊本地震及び千葉豪雨により亡くなられた方々に深い哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様のお見舞いと一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、生徒の皆さん、9 月 1 日は何の日か知っていますよね。

9 月 1 日は「防災の日」です。この日は、1923 年（大正 12 年）に発生した関東大震災の教訓を忘れず、防災意識を高めることを目的として 1960 年に制定されました。また、9 月初旬は昔から台風の襲来が多い時期であり、風水害への備えを呼びかける意味も込められています。さらに、8 月 30 日から 9 月 5 日までは「防災週間」とされ、全国各地で防災訓練や啓発活動が行われています。

私たちの国は、地震や台風、大雨などの自然災害が多く発生します。近年も全国各地で大規模な地震や豪雨災害が発生しており、防災への備えの重要性が改めて認識されています。災害はいつ起こるか分かりません。そのため、日頃からの準備や正しい知識が、自分や大切な人の命を守ることに繋がります。

本校でも、生徒が自ら判断し安全に避難できる力を身に付けられるよう、避難訓練や防災教育に取り組んでいます。特に第 2 学年では、8 月 27 日（木）・28 日（金）の 2 日間にわたり、三鷹市防災課・NP0 法人 Mitaka みんなの防災・地域協力者の方々にご協力いただき「防災教室」を実施しました。

27 日（木）には、5 校時に「防災講演会」を開催しました。2011（平成 23 年）年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、岩手県釜石市の小・中学生約 570 人が、自ら判断して避難し、津波から命を守りました。この出来事は「釜石の奇跡」として広く知られています。しかし、それは決して偶然によるものではなく、日頃の防災教育と訓練の積み重ねによる成果であり、「釜石の奇跡」とも呼ばれています。講演会では、その様子を記録した DVD を視聴するとともに、自助・共助・公助の大切さや、災害時の心構え、地域防災において中学生に期待することなどについて学びました。28 日（金）には、5・6 校時に「防災訓練」を実施しました。学年全体を 8～9 人ずつの 20 班に分け、①避難所運営ゲーム「HUG（ハグ）」と、②三中防災設備見学の 2 つの活動に取り組みしました。①避難所運営ゲーム「HUG（ハグ）」とは、「避難所（H i n a n j y o）運営（U n e i）ゲーム（G a m e）」の頭文字と、「抱きしめる（h u g）」を合わせて名付けられたもので、静岡県で開発された防災学習プログラムです。今回は、三中体育館のマップを使用し、避難してきた人々をどこに案内するか、救援物資をどこに配置するかなどについて班ごとに話し合いながら、避難所運営の疑似体験をしました。②三中防災設備見学では、2 か所ある「防災倉庫」、「仮設トイレ用マンホール」、「飲料水貯水槽」、「特設公衆電話」の 4 つの設備について、それぞれ説明を受け、それぞれの役割や機能、避難所開設時の活用方法について学びました。

災害への備えは特別なことではなく、日々の暮らしの中で意識し続けることが大切です。防災の日を機会に、ご家庭でも避難場所や避難経路の確認、災害時の連絡方法、防災用品や非常食の点検などについて話し合っただけであれば幸いです。学校においても、生徒が自ら考え、主体的に行動し、自分の命を守る力を身に付けられるよう、今後も防災教育の充実に努めてまいります。

「自分の命は自分で守る」

この意識を家庭・学校・地域が一体となって育み、災害に強い地域づくりにつなげていきたいと思います。



三鷹市長崎市平和交流派遣事業

令和8年7月28日～30日に市内の中学2年生16人が長崎市へ派遣され、本校からは2年〇組、2年〇組HPでは名前を消していますさんの二人が参加しました。派遣先の長崎では、原爆資料館の見学や被爆体験講話、現地の中学生との意見交換を通じて、平和の意義を深く学びました。

11月は「平和教育月間」、11月30日が「三鷹市平和の日」になります。本校では、11月に派遣に参加した生徒の体験談や学びを発表する機会を設ける予定です。また、道徳の授業等でも平和について学び、命の尊さや平和な社会を築くことの大切さについて、一人ひとりが自分の考えを深めてまいります。学校全体で平和への思いを共有し、次世代へ語り継ぐ一歩としていきたいと考えております。



プレ中学生体験

8月26日(水)、三鷹の森学園の小学6年生の皆さんをお迎えし、本校にてプレ中学生体験を実施いたしました。まずは体育館で開会式を行い、「三中の校長先生は誰だ」というクイズで大いに盛り上がる楽しいスタートとなりました。続いて生徒会による学校紹介を見た後、各教室へ移動して35分間の体験授業に臨みました。2つの教科の授業において、自ら進んで手を挙げ、弾けるような笑顔で楽しむ姿がとても印象的でした。



児童会・生徒会交流

小学生の下校後、本校生徒会役員と高山小学校・第五小学校の児童会役員が集まり、「三鷹の森学園があいさつであふれる地域にするためにより良い挨拶運動を考えよう」をテーマに交流会を開催しました。

各校における挨拶の現状や課題について、参加した全員が積極的に発言する姿が見られました。第五小学校からは「挨拶をした児童にカードを配布して楽しく展開する工夫」、高山小学校からは「毎週水曜日に定期実施することで習慣化を図る工夫」などが共有されました。

課題やアイデアを整理した結果、最終的に学園として「一部の有志だけでなく、学校全体を巻き込んで挨拶運動を盛り上げていく」という共通の目標を掲げ取り組んでいくことになりました。今回の話し合いを踏まえた各校の今後の取組については、9月29日にZOOMにて報告会を行う予定です。



保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

実り多き夏休みを終え、8月25日に2学期がスタートしました。今学期は大きな成長の機会となる行事や学びが盛りだくさんです。10月には合唱コンクールも控え、クラスの絆を深めながら目標に向かって挑戦する姿を楽しみにしています。生徒の皆さんが安心して力を発揮できるよう、教職員一同全力で支援してまいります。今学期もご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

